

## 院内看護職員に対するキャリア支援

今年度のキャリア支援プログラム、終了！ <開催実績：参加のべ人数>

人工呼吸器学習会	シナリオシミュレーション学習会
63	42

キャリア支援プログラムは実践の場で活かせることを目的に、より実践に近い形で組み立てています。

そのため、学習会は『**実際に見る**』『**触る**』『**やってみる**』と主体的な学びを支援する構成です。

また、学習者のレディネスに合わせて、臨機応変に学習内容の変更もしています。

次年度も、不足しているスキルの補足や知識のアップデートおよび自身のキャリアアップにぜひ活用してください。

## 後輩指導をする指導者サポート **予約受付中**

「リフレクション」にご参加いただきありがとうございました！

シャドーイングをおこなうということで、初めは緊張が伝わってきましたが、一場面を切り取りひもどくことで指導者から「相手のことがわかる、なぜそうするのかみえてくる」と、自分が感じていたことのズレ、そのときどうすればよかったのか言語化できていました。

**体験でとどまっていると、同じことがくりかえされてもできるようにはありません。**

**言葉としてその人に定着していないということです。**

**リフレクションによって体験から経験にしていきましょう。**

指導者が感じることにに関して、お困りの点がありましたら、気楽にご相談ください。

随時受け付けておりますので、所定の用紙に必要事項を記入して、看護キャリア開発センターにお申込みください！

シナリオシミュレーション学習会



人工呼吸器学習会



後輩Nsの指導で「なかなか伝わらない」「困難」と思った出来事・場面をひもどく

視点1：後輩Ns（相手）の中で、何が起きていたのか	視点2：後輩Ns（相手）と指導Ns（私）の関わりの中で、何が起きていたのか	
私の経験 私は何を思ったのか Want?	後輩Ns（相手）の経験 相手は何を思ったのか Want?	「伝わらない」 「指導したのに…」 「なんだか難しい」 *こんなとき大半はズレがある *どこが入っているのか *そのズレに注目する *このとき中心にみるのは後輩Ns（相手）の経験
私は何をしたのか Do?	相手は何をしたのか Do?	
私は何を考えていたのか Think?	相手は何を考えていたのか Think?	
私は何を感じていたか Feel?	相手は何を感じていたか Feel?	

© 2019 トラスト・ハーブ・GALACTICモデル学院

## 県内看護職に対する支援

### 特定行為研修

5期生の共通科目研修が終わりました！

「臨床推論」「フィジカルアセスメント」「医療安全」、また、修了者が特に苦勞する自組織での「役割開発」、「多職種連携」、「手順書」の作成、そして欠かせない「倫理」について、講義・演習・ロールプレイを実施しました。「役割開発」「倫理」では院内で活躍中の特定行為研修修了者 小谷智美副看護師長と、関晃平皮膚・創傷ケア認定看護師の2名にも講師を担っていただきました。

受講生は「役割開発のためにどんな準備が必要か」「特定行為を習得するにあたり、再考して落とし込まねばならない倫理」「手順書にはどのような視点を盛り込むべきか」を具体的に学ぶことができました。

個人防護具の取り扱い（遠隔講義）

手順書の作成



OSCE

フィジカルアセスメント

多職種連携ロールプレイ  
副部長お二人の名演技が光る！

お願いします

4期生の実習が終わっていません…

PICC挿入と気管カニューレ交換で院内実習をする場合があります。実習には当センター職員が引率します。

吸引などの介助をお願いする場合、お声がけさせていただきますので、どうぞ協力のほどよろしくお願いいたします。

### 特定行為研修「在宅・慢性期領域パッケージ」ってどんなもの？

特定行為のなかでも、特に在宅や慢性期の療養をされている患者さんに必要な処置を特定行為としてパッケージ化したものです。和歌山県ではこのパッケージに含まれる特定行為のニーズが非常に高く、令和2年度からこのパッケージ研修を開始しました。

特定行為は「区分」に分類されており、区分には1～5つの「特定行為」が含まれています。パッケージの場合は、「区分」の枠組みを取っ払い、その領域に必要な「特定行為」だけを組んだものです。在宅・慢性期領域パッケージには、「気管カニューレの交換」「胃ろう・腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換」「脱水症状に対する輸液による補正」「血流のない壊死組織の除去」が含まれます。

詳細を知りたい方は  
センターまでご連絡ください

@kankyari\_wmu

kangocareer\_wakayama



↑ HPのQRコード  
発行：看護キャリア開発センター

(内線：3276)